

桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 令和5年7月11日 No, 14 文責 渡 邊

「社会に開かれた教育課程」の構築を目指して!

令和5年7月6日(木)に、渡邊校長は「田方地区教員研修協議会第1回『研修講座』」の講師を依頼され、各校の研修主任の先生方を対象に講話を行いました。



【研修会の様子①】



【研修会の様子②】



【研修会の様子③】

講話のテーマは、「資質・能力の育成を目指す『主体的・対話的で深い学び』の授業改善を柱とする校内研修の進め方」と『令和の日本型学校教育』の構築を目指した校内研修の在り方」とし、この2つについて話をしました。

桑村小学校では、年度初めに全職員を対象に校内研修で校長による講話を行っています。今回の講話の内容についても、本校の職員は既に研修を行いました。本校の研修で大切にしていたのが、学校教育目標である「夢に向かい 感性を育む 桑っ子」の具現化に向けて、授業を柱に全ての教育活動を通して迫るということです。

校内研修で期待する教職員の学びの姿は、以下の3点です。

- ①個々の教員の資質・能力の向上
- ②教員の協働的な学びの推進
- ③学校の組織力の向上



【R5 校内研修より】

この中で、③については「カリキュラム・マネジメントの確立と推進」について熟考しました。これからの学校教育では、「社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会をつくる」という目標をもち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと（「社会に開かれた教育課程」（平成28年12月 中央審議会答申より）が重視されます。本校では、「学校応援団」（コミュニティ・スクール）や保護者の温かな支援のおかげで豊かな体験活動が教育課程に組み込まれています。そして、それらを読書活動とつなげることで「豊かな感性」の育成を全校体制で取り組むことができます。本当にありがたいことです。

今回参加された各校の研修主任の先生方にも、本校の取組のすばらしさを紹介させていただくことができたことは嬉しいことです。田方地区教員研修協議会の事務局の皆様方には貴重な講話の機会をいただいたことに感謝いたします。